

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	55,947千円	54,124千円	56,506千円	0千円
総人件費	7,351千円	7,221千円	7,194千円	
総事業コスト	63,298千円	61,345千円	63,700千円	

事務事業名	01 芸術文化公演事業		指標名	入場率				指標種別	活動結果指標		指標の概要	各公演の定員に対する入場者数の平均					
	戦略プラン	3	2	文化芸術の振興		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	H31年度	H32年度		
				77%	77%	77%	80%	80%	80%	80%							
総合戦略	1 4		文化・芸術の振興		実績	69%	81.5%	-									
個別計画	-		-		H27年度				H28年度				その他の指標	入場者数			
	-		-		改善目標				改善目標								
					つくば文化振興財団と協定を結ぶことにより、効率的かつ円滑な事業の実施を行う。つくば文化振興財団が業務を担う中で、集客については事業PRを相互にきめ細やか、広範に行うとともに、販売促進のための特典制度などを検討、実施していく。				つくば文化振興財団と協定を結ぶことにより、効率的かつ円滑な事業を実施する。業務を担う中で、集客については事業PRを相互にきめ細やか・広範に行うとともに、インターネット予約の普及を図り、販売促進のための特典制度などを実施し、入場率を向上させる。								
根拠法令等	-		-		事業計画				事業計画				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
					平成27年度つくば市芸術文化事業 ・事業数…16事業 ・内訳…音楽:6公演, 演劇・芸能:4公演, 市民参加型:4公演, 美術:2企画 第30回つくば国際音楽祭 ・事業数…5事業				平成28年度つくば市芸術文化事業 ・事業数…20事業 ・内訳…音楽:6公演, 演劇・芸能:3公演, 舞踊2公演, 参加・体験型:7公演, 美術:2企画 第32回つくば国際音楽祭 ・事業数…5事業								
事業分類	E		補助金・負担金事業		活動実績				活動実績				人件費(B)	5,072千円	4,992千円	4,965千円	
					平成27年度つくば市芸術文化事業・事業数…18事業 ・内訳…音楽:7公演, 演劇・芸能:4公演, 舞踊:1公演, 市民参加型:4公演, 美術:2企画 ・入場者合計…15,754人(参加者含む) 第31回つくば国際音楽祭・事業数…5事業 ・入場者合計…4,410人 ノバホール開催:15事業…13,340人入場 つくばカピオ開催:4事業…1,101人入場 その他会場開催:4事業…5,723人入場				平成28年度つくば市芸術文化事業 ・事業数…20事業 ・内訳…音楽:6公演, 演劇・芸能:3公演, 舞踊2公演, 参加・体験型:7公演, 美術:2企画 第32回つくば国際音楽祭 ・事業数…5事業								
執行体制	-		一部委託		成果				成果				正職員	従事割合	0.60人	0.60人	0.60人
					文化芸術の拠点施設であるノバホール・つくばカピオを主な会場とし、幅広いジャンルの作品を提供することができた。また、国際的に活躍する日本人アーティスト等による音楽公演を行い、芸術文化と国際の二面性を持つつくばらしさを浸透させた。また、友の会入会者には、特典として座席表が記載されたファイル等を配布した。				上半期活動実績								
事業の概要	-		-		課題				課題				臨時職員等	無	無	無	
					公演・プログラムの選定に当たって、限られた予算の中での多様な質の高い公演等の紹介と、集客向上(収支の黒字化)の両立が課題となっている。				上半期成果								
ISO 14001	-		-		事業の進捗状況				事業の進捗状況				事業コスト(A+B)	50,248千円	48,521千円	50,571千円	
					有効性 中:適切な成果が得られている				有効性 -								
環境連関性	-		-		達成				達成				H29年度当初積算根拠	-	理由	-	
					効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -								
					総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	55,947千円	54,124千円	56,506千円	0千円
総人件費	7,351千円	7,221千円	7,194千円	
総事業コスト	63,298千円	61,345千円	63,700千円	

事務事業名		02 文化団体等育成支援事業		指標名	加盟団体数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	文化協会の加盟団体数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略		- - - -		実績	64団体	60団体	-					その他の指標	加盟人数				
個別計画		つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針		H27年度				H28年度									
根拠法令等		つくば市補助金交付適正化規則 つくば市文化協会補助金交付要綱		改善目標	文化協会では新たに、専門部ごとに部門を結成し活動を行なう形態に変更予定。また、(公財)つくば文化振興財団との協力関係を構築し、加入団体の運営事務負担を軽減する。				改善目標	文化協会では、平成27年度に支部を廃止し、地域でなく活動分野ごとの組織への改編が実施された。組織改編による混乱が生じないように、文化協会への指導・助言等を行い、年度内に運営を軌道に乗せる。							
事業分類		E 補助金・負担金事業		事業計画	・文化協会本部の芸術展・芸能祭 ・部門ごとの芸術展・芸能祭の実施				事業計画	・文化協会本部の芸術展・芸能祭 ・部門ごとの芸術展・芸能祭の実施							
執行体制		補助金(直接)		活動実績	・文化協会では新たに専門部ごとに部門を結成し活動を行う形に組織が改編された。 ・文化協会と(公財)つくば文化振興財団と協力関係が構築された。 ・平成27年度は、芸能祭、芸術展、ハワイアンフラフェスティバル等の事業に補助金を交付した。 平成27年度つくば市文化協会加盟者数：620人				上半期活動実績	-							
事業の目的		市内文化団体が連携し、文化活動の活性化を図るとともに、人材育成に努めることによって、つくば市の文化振興に寄与するため。		成果	文化団体間の交流が活発に行われたほか、文化協会主催事業をとおして市民との交流も促されたことで、文化活動の活性につながった。専門部ごとに活動を行なう形態へ変更したことで、文化活動の活性化が期待できる。また、つくば文化振興財団との協力関係を構築し、加入団体の運営事務負担を軽減することができた。				上半期成果	-							
事業の概要		市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援した。		課題	文化協会では、支部を廃止し、地域でなく活動分野ごとの組織への改編が実施された。組織改編による混乱が生じないように、運営が軌道に乗るまで文化協会への指導・助言等を行っていく必要がある。また、会員の減少や高齢化が進んでいる。				課題	-							
ISO 14001 環境関連性		- -		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度の方向性	理由	-			
評価		有効性		中：適切な成果が得られている				有効性		-							
		効率性		中：適切な費用対効果が得られている				効率性		-							
		総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-							

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	595千円	595千円	900千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	595千円	595千円	900千円	0千円
人件費(B)	760千円	743千円	743千円	
正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人
内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
	臨時職員等	無	無	無
事業コスト(A+B)	1,355千円	1,338千円	1,643千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	55,947千円	54,124千円	56,506千円	0千円
総人件費	7,351千円	7,221千円	7,194千円	
総事業コスト	63,298千円	61,345千円	63,700千円	

事務事業名	03 (公財)つくば文化振興財団支援事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	- - - -	実績	-	-	-											
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針	改善目標	プロパ-職員の育成を軸とした財団組織の強化のため、定期的な協議、関連情報の提供や助言を行う、				改善目標	専門職員を育成するための支援を図る。				その他の指標	-			
根拠法令等	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律等	事業計画	つくば国際音楽祭事業 つくば市芸術文化事業(鑑賞型) つくば市芸術文化事業(参加型) 美術展事業 絵画制作表彰事業 文化芸術活動支援事業				事業計画	つくば国際音楽祭事業 つくば市芸術文化事業(鑑賞型) つくば市芸術文化事業(参加型) 美術展事業 絵画制作表彰事業 文化芸術活動支援事業 インターネット チケット予約システム導入				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	公益財団法人つくば文化振興財団への運営補助金として10,000,000円を交付するとともに、市職員の派遣を行った。				上半期活動実績	-				事業費(A)	10,176千円	10,000千円	10,000千円	0千円
執行体制	補助金(直接)	成果	公益財団法人であることから、収益事業などに様々な制限のある中で、財団の運営は行われている。しかし、そのような状況の中で財団による自助努力が芽生えてきており、創意工夫のもとに事業運営が図られている。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	公益法人としてつくば市に代わって多彩な事業を担う公益財団法人つくば文化振興財団に対し財政的支援を行うことで健全経営を図り、芸術文化振興事業を通し市民の豊かで魅力ある都市生活の向上に寄与するため。	課題	公益財団法人として、文化芸術の振興及び文化施設の管理に特化した組織となって3年目を迎え、今後は専門性を有し、安定した財政運営を目指していくための強い組織力が求められる。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	公益財団法人つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付や市職員の派遣等を行っている。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-							
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-				一般財源	10,176千円	10,000千円	10,000千円	0千円	
											人件費(B)	1,519千円	1,486千円	1,486千円		
											正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人	
											時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	11,695千円	11,486千円	11,486千円		
											H29年度当初積算根拠	-				
											H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	21	市民文化祭開催に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	9,157千円	9,199千円	10,550千円	0千円
総人件費	6,754千円	6,878千円	6,611千円	
総事業コスト	15,911千円	16,077千円	17,161千円	

事務事業名	01	つくば市民文化祭開催事業		指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要						
		3	2	文化芸術の振興	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	市内7会場(筑波,大穂,谷田部,豊里,桜,荳崎,中央)の来場者数								
戦略プラン				目標値	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人									
総合戦略	1	4	文化・芸術の振興	実績	23,941人	24,117人	-						その他の指標	参加者数,参加団体数						
	-	-	-	-	H27年度				H28年度											
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針			改善目標	・漫然と作品展示を行なうのではなく,体験教室や子供たちの作品を飾り集客につなげる。				改善目標	・平成27年度に引き続き,単に作品展示を行なうのではなく,体験教室や子供たちの作品を展示し集客につなげる。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
	根拠法令等	文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例			事業計画	・開催日は,11月7,8日(荳崎は3日から) ・会場は,昨年同様の7会場で行う。				事業計画	・開催日は,11月5,6日(荳崎は1日から) ・会場は,昨年同様の7会場で行う。								事業費(A)	9,157千円
事業分類	A 任意的事業			活動実績	市内7会場(筑波,大穂,谷田部,豊里,桜,荳崎,中央)で開催し,市民による芸能発表と展示発表を実施した。ただし,桜会場は展示発表のみ。 開催日:11月7日(土),8日(日) 参加団体数:375団体 参加者数:4,380人 来場者数:24,117人				上半期活動実績					内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託				成果	市民が文化芸術に身近に接することにより,興味や関心を育むきっかけとなり,市全体の文化意識の高揚につながった。また,体験教室や子ども達の作品を飾り,アンケートでも高評価を得た。				上半期成果					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	文化芸術活動の成果を発表する場を提供することで意欲の向上を促進させるとともに,それら文化芸術作品に身近に触れる機会を提供することで市民の文化芸術意識の高揚を図るため。			課題	来場者からマンネリ化が指摘されており,アンケートで特に希望の多い子ども向け企画を増やす等,内容に工夫をする必要がある。				課題					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
	市内各地区の地域交流センター・体育館・市民ホール等を会場として,参加団体及び個人の作品展示やステ-ジ発表のほか,音楽会,小中学校芸術展などを実施。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境性	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性					人件費(B)	6,754千円	6,878千円	6,611千円	
	-	-	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている					効率性						正職員	従事割合	0.80人	0.80人
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価					時間外勤務	250.00時間	350.00時間	250.00時間			
												臨時職員等	無	無	無					
												事業コスト(A+B)	15,911千円	16,077千円	17,161千円					
												H29年度当初積算根拠					H29年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	6,489千円	4,178千円	6,673千円	0千円
総人件費	2,604千円	2,737千円	2,550千円	
総事業コスト	9,093千円	6,915千円	9,223千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	22	メディア芸術振興に要する経費 (まち・ひと・しごと創生事業に要する経費)

事務事業名	01 メディア芸術振興事業				指標名	入場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標		
戦略プラン	-	-	-	-	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人		メディアアートフェスティバル、ショートムービーコンペティション両事業来場者数の合計	
総合戦略	1	4	文化・芸術の振興		実績	2,315人	2,162人	-					ショートムービー作品応募数		
					H27年度				H28年度						
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針				改善目標	・メディアアートの作品展示については、筑波大学と連携しつつ、継続的に開催できるようネットワークを広げる。 ・つくッペについては、高校等、市内での広報に力を入れ、地域に根ざした催事へ発展させると同時につくば部門への応募数を増やす。				改善目標	・メディアアートの作品展示については、筑波大学と連携しつつ、継続的に開催できるようネットワークを広げる。 ・つくッペについては、高校等、市内での広報に力を入れ、地域に根ざした催事へ発展させると同時につくば部門への応募数を増やす。				
	根拠法令等	文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例				事業計画	・メディアアートフェスティバル：11月28日～12月6日 ・つくばショートムービーコンペティション：3月5日(予定)				事業計画	・メディアアートフェスティバル：11月26日～12月4日 ・つくばショートムービーコンペティション：3月上旬(予定)			
事業分類		A 任意的事業					活動実績	・メディアアートフェスティバル：11月28日から12月6日までつくば美術館において実施した。作品は27組の作家が参加し21作品を展示した。 ・つくばショートムービーコンペティション「つくッペ」：3月5日、サイエンス・インフォメーションセンターで実施した。応募総数53作品(内つくば部門3作品)				上半期活動実績			
執行体制	職員のみ				成果	メディアアートフェスティバルについては、2,000人以上の来場者があり、一定の成果を収めた。ショートムービーコンペティションについては、作品の応募総数が53作品と減少したが、審査会参加者は倍増し、市民に定着してきた。また、グランプリ作品が、姉妹都市、仏・グルノーブル市の屋外短編映画祭へ招待され上映された。				上半期成果					
事業の目的	最先端の科学技術を駆使した、新たなアートの世界(メディア芸術)を紹介し、科学技術に対する親近感の醸成、新しい芸術表現の可能性を体感・創造し、つくばらしい文化芸術の振興に寄与していくため。					課題	メディアアートフェスティバルは、来場者が減少したため、さらに広報等に力を入れ、市民に対する認知度のアップを図り、集客増につなげる必要がある。				課題				
事業の概要	市内大学、研究機関等と連携し、2事業を実施する。 ・つくばメディアアートフェスティバル：メディア芸術作品を市民に周知する一環としてつくば美術館にて作品の展示会を行う。 ・つくばショートムービーコンペティション「つくッペ」：10分以内の映像作品を募集し、コンテストを実施する。				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠
ISO 14001 関連性	環境性	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-				H29年度の方向性	理由	
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている					効率性	-						
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	13	11	ノバホ-ル維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	289,620千円	105,370千円	88,001千円	0千円
総人件費	3,879千円	3,795千円	3,795千円	
総事業コスト	293,499千円	109,165千円	91,796千円	

事務事業名	01	ノバホ-ル管理運営事業(指定管理者制度)	指標名	施設稼働率(ホ-ル)				指標種別	活動結果指標				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	ホ-ルの開館日数に対する利用日数の割合	
戦略プラン	-	-	-	75%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%		
総合戦略	-	-	-	実績	86%	83%	-					その他の指標	施設利用回数
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針		改善目標	H27年度 指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況の詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。				改善目標	H28年度 指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況の詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。				
根拠法令等	つくば市立ノバホ-ル条例		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・月例報告会(毎月実施) ・年次報告会(年1回5月実施) ・つくばセンタービル運営協議会 ・つくばセンタービル大規模改修工事 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・月例報告会(毎月実施) ・年次報告会(年1回5月実施) ・つくばセンタービル運営協議会 				
事業分類	F 施設等維持管理事業		活動実績	本年度は、つくばセンタービル大規模改修工事として、中央監視装置更新工事を実施するとともに、2月・3月に自主事業として3事業を実施した。それ以外は、貸館などの指定管理業務のほか、防火シャッター修繕工事、消防用施設修繕工事等を行った。また、老朽化した演奏者用譜面台を更新した。				上半期活動実績	-				
執行体制	指定管理者		成果	指定管理者と定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営の状態を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する事態の場合には随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応した。				上半期成果	-				
事業の目的	つくば市における芸術文化振興の中核施設であるノバホ-ルの施設管理及び貸館業務において、指定管理者制度を導入することで適正な運営を図るとともに、継続的に施設整備(修繕)を行うことにより、施設の機能維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全の確保を図るため。		課題	開館から30年が経過した施設のため、根幹設備(機械・照明・音響等)の経年劣化に伴う不具合が頻発しており、修繕予算を圧迫している。中長期的な修繕計画を策定するとともに、国の補助事業を取り入れるなど財源確保の方法も探っていく必要がある。				課題	-				
事業の概要	ノバホ-ルは、公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)の範囲を超える修繕については、市が直接工事発注し修繕を行う。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
ISO 14001	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			
環境	-	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-			
関連性	-	-	評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			
			事業実施コスト				H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
			事業費(A)				289,620千円	105,370千円	88,001千円	0千円			
			国庫支出金				24,922千円	0千円	0千円	0千円			
			県支出金				0千円	0千円	0千円	0千円			
			地方債				161,000千円	0千円	0千円	0千円			
			その他特財				40千円	41千円	41千円	0千円			
			一般財源				103,658千円	105,329千円	87,960千円	0千円			
			人件費(B)				3,879千円	3,795千円	3,795千円				
			正職員				従事割合	0.50人	0.50人	0.50人			
			時間外勤務				30.00時間	30.00時間	30.00時間				
			臨時職員等				無	無	無				
			事業コスト(A+B)				293,499千円	109,165千円	91,796千円				
			H29年度当初積算根拠										
			H29年度当初積算根拠										
			理由										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	285,826千円	249,513千円	251,686千円	0千円
総人件費	3,879千円	3,795千円	3,795千円	
総事業コスト	289,705千円	253,308千円	255,481千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	14	11	つくばカピオ維持管理に要する経費

事務事業名	01	つくばカピオ管理運営事業(指定管理者制度)	指標名	施設稼働率				指標種別	活動結果指標			指標の概要	施設の開館日数に対する利用日数の割合						
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン	-	-	-	92%	92%	93%	93%	93%	93%	93%									
総合戦略	-	-	-	92%	93%	-													
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針		改善目標	H27年度 指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況の詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。				H28年度 指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況の詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。				その他の指標	施設利用回数						
根拠法令等	つくばカピオ条例		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・月例報告会(毎月実施) ・年次報告会(年1回5月実施) ・空調設備改修工事設計委託 ・照明設備改修工事設計委託 ・監視カメラ及び放送設備改修工事設計委託 ・空調機改修工事 				<ul style="list-style-type: none"> ・月例報告会(毎月実施) ・年次報告会(年1回5月実施) ・月曜開館の実施 				事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
事業分類	F 施設等維持管理事業		活動実績	27年度は、施設貸し出しの実績や維持管理について例年どおりの実績を残すとともに、3月には自主事業としてホール舞台裏を紹介する事業を実施した。空調設備、照明設備、監視カメラ及び放送設備の改修工事の設計委託について、一括して発注し、経費を節減した。空調機改修工事について3月に実施した。				上半期活動実績				事業費(A)		285,826千円	249,513千円	251,686千円	0千円		
執行体制	指定管理者		成果	指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応した。				上半期成果				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	文化・スポーツ活動等の中核施設であるつくばカピオの施設管理及び貸館業務において、指定管理者制度を導入することで適正な運営を図るとともに、継続的に施設整備(修繕)を行うことにより、施設の機能維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全の確保を図るため。		課題	開館から20年が経過する施設のため、根幹設備(機械・照明・音響等)の経年劣化に伴う不具合が頻発しており、修繕予算を圧迫している。中長期的な修繕計画を策定するとともに、国の補助事業を取り入れるなど財源確保の方法も探っていく必要がある。				課題				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	つくばカピオは、公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者の裁量において自らが行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)の範疇を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行う。		事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				その他特財		2,172千円	2,033千円	2,183千円	0千円
環境	-	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				一般財源		282,654千円	247,480千円	249,503千円	0千円
関連性	-	-	評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				人件費(B)		3,879千円	3,795千円	3,795千円	
													正職員		従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	
													時間外勤務		30.00時間	30.00時間	30.00時間		
													臨時職員等		無	無	無		
													事業コスト(A+B)		289,705千円	253,308千円	255,481千円		
													H29年度当初積算根拠						
													H29年度の方向性		-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	15	12	地域交流センター-行事に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,368千円	5,165千円	7,042千円	0千円
総人件費	609千円	539千円	614千円	
総事業コスト	8,977千円	5,704千円	7,656千円	

事務事業名	01	地域交流センター-主催行事	指標名	講座延受講者数				指標種別	成果指標	指標の概要	年間の延受講者数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	12,350名	12,350名	12,350名	-	-	-	-					
総合戦略	-	-	-	実績	10,158名	9,445名	-								
個別計画	地域交流センター-基本計画			H27年度				H28年度							
根拠法令等	地域交流センター-条例			改善目標	広報つくば掲載号とは別に簡易なチラシ類を作成し、文化施設等に設置・配布することによる周知を行い、講座受講者の募集告知を行きわたらせる。				改善目標	地域交流センター担当職員からなる講座専門部会を定期的に開催し、講座の周知方法、土日祝日・夜間開講の講座、講座のメニューについて更なる見直しを図る。					
事業分類	A 任意的事業			事業計画	5月 前期講座募集 6月～8月 前期講座実施 9月 後期講座募集 10月～12月 後期講座実施				事業計画	5月 前期講座募集 6月～8月 前期講座実施 9月 後期講座募集 10月～12月 後期講座実施					
執行体制	職員のみ			活動実績	5月 前期講座募集 6月～8月 前期講座実施 9月 後期講座募集 10月～12月 後期講座実施 合計163講座実施、参加者数9,445人。 小中学生、高齢者、親子など多様な対象向けの講座を開催したほか、後期講座において講座の周知方法を改善し、参加率を向上させた。しかし、耐震補強工事を実施した桜交流センターでは年間で、東日本豪雨による避難所となった豊里交流センターでは後期の講座を開講できなかった。				上半期活動実績	-					
事業の目的	地域交流センター-の自主的な事業として、前期、後期の講座を実施することにより、市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため。			成果	ジオパーク推進室など関係各課との連携講座や、外国人向けの国際理解講座などを実施し、つくば市政情報の普及啓発や国際交流を行うことができた。				上半期成果	-					
事業の概要	各交流センターにおいて、前期と後期に分けて市民ニーズに応じた講座等を企画し、参加募集を行う。応募者多数の場合は抽選の上、受講者を決定して講座を実施する。			課題	社会人の方が参加できるように夜間や土日祝日開講の講座について、更に検討する必要がある。 また、地域貢献や地域活動へのデビューなど、市民の要望や社会の要請に合わせた現代的な課題をテーマとした講座の充実など、メニューの見直しも必要である。				課題	-					
ISO 14001	環境	関連性	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-				
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている					効率性	-				
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-				
その他の指標											総講座数	H24年度 148講座 H25年度 156講座 H26年度 184講座			
事業実施コスト											H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業費(A)											8,368千円	5,165千円	7,042千円	0千円	
国庫支出金											0千円	0千円	0千円	0千円	
県支出金											0千円	0千円	0千円	0千円	
地方債											0千円	0千円	0千円	0千円	
その他特財											2,886千円	2,312千円	3,200千円	0千円	
一般財源											5,482千円	2,853千円	3,842千円	0千円	
人件費(B)											609千円	539千円	614千円		
正職員											従事割合	0.07人	0.07人	0.08人	
時間外勤務											28.25時間	7.00時間	7.00時間		
臨時職員等											無	無	有		
事業コスト(A+B)											8,977千円	5,704千円	7,656千円		
H29年度当初積算根拠											-				
H29年度の方向性											-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	16	11	市民ホ-ル管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	125,926千円	132,042千円	228,954千円	0千円
総人件費	3,122千円	4,594千円	4,594千円	
総事業コスト	129,048千円	136,636千円	233,548千円	

事務事業名	01 市民ホ-ル管理事業	指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標			指標の概要	市内4か所(つくばね,とよさと,やたべ,くきざき)の市民ホ-ル利用者数						
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
			70,000人	80,000人	90,000人	-	-	-	-									
総合戦略	-	実績	104,814人	123,014人	-						その他の指標	-						
個別計画	-	H27年度				H28年度												
根拠法令等	つくば市市民ホ-ル条例	改善目標	交流センターとの緊密な連携を図るとともに施設の維持管理に努め、4館の利用者数を増加させる。				改善目標	市民ホールくきざきの設備等を計画的かつ集中的に修繕して、利用者の利便性を向上させることにより、市民ホール全体の利用者数の増加を図る。										
		事業計画	平成27年 4月 清掃・維持管理業務委託契約を締結 9月 市民ホ-ルくきざき舞台照明負荷設備改修工事を実施予定 その他、必要に応じて随時修繕等を実施。				事業計画	平成28年 11月 市民ホールくきざき舞台音響設備全体改修工事契約締結 市民ホールくきざき舞台吊物設備改修工事契約締結 楽屋空調機器更新工事契約締結 その他、必要に応じて随時4施設の修繕等を実施。										
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	平成27年 4月 清掃・維持管理業務委託契約締結 9月 市民ホールくきざき舞台照明負荷設備改修工事を実施 市民ホールとよさとが関東・東北豪雨被災者の避難所となる。 その他、市民ホールくきざきにおいてトイレの洋式化を実施。				上半期活動実績	-										
執行体制	一部委託	成果	市民ホールの清掃・維持管理業務委託を行うことで、施設の清潔な環境を維持することができた。市民ホールとよさとが避難所として機能し、災害時拠点としての役割を果たした。				上半期成果	-										
事業の目的	市民の文化の振興及び教養の向上を図り、もって福祉の増進に資するため。	課題	市民ホールは各種設備の老朽化が進行しているため、今後における中長期的な計画による修繕が課題となっている。				課題	-										
事業の概要	利用者が常に快適な環境で市民ホ-ルを利用できるよう、清掃・維持管理業務など各種業務を実施し、快適な市民サービスを提供するとともに、老朽化に伴う不具合などが発生した場合は早期修繕に努め、安心・安全な利用環境を維持する。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-									
		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-											
ISO 14001 関連性	環境	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-											
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-												
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)		125,926千円	132,042千円	228,954千円	0千円	内訳	国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
事業費(A)		125,926千円	132,042千円	228,954千円	0千円	県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財		11,661千円	10,643千円	10,313千円	0千円		一般財源		114,265千円	121,399千円	218,641千円	0千円
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	人件費(B)		3,122千円	4,594千円	4,594千円			正職員	従事割合	0.41人	0.61人	0.61人	
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	時間外勤務		2.76時間	23.00時間	23.00時間				臨時職員等	無	無	無	
その他特財		11,661千円	10,643千円	10,313千円	0千円	事業コスト(A+B)		129,048千円	136,636千円	233,548千円			H29年度当初積算根拠					
一般財源		114,265千円	121,399千円	218,641千円	0千円	H29年度当初積算根拠		-										
人件費(B)		3,122千円	4,594千円	4,594千円		理由		-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	10,558千円	10,951千円	11,183千円	0千円
総人件費	387千円	478千円	478千円	
総事業コスト	10,945千円	11,429千円	11,661千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	11	社会教育振興に要する経費

事務事業名	01 社会教育振興事業				指標名	環境美化コンク-ル参加団体				指標種別	成果指標	指標の概要		
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	9団体	10団体	11団体	-	-	-	大好きいばらき県民会議主催の花と緑の環境美化コンク-ル参加団体数		
総合戦略	-	-	-	-	実績	8団体	9団体	-				その他の指標		
	-	-	-	-										
個別計画					H27年度				H28年度					
根拠法令等	社会教育法 つくば市社会教育委員条例				改善目標	環境美化コンク-ルの募集PRの強化により、参加団体を前年度よりも増加させる。				改善目標	花苗や肥料購入費の助成に関する予算の増額や活動に関する周知活動を強化することにより、参加団体の増加を図る。			
事業分類	A 任意的事業				事業計画	6月 環境美化コンク-ル参加団体を募集 8月 第1回社会教育委員会議を開催 3月 第2回社会教育委員会議を開催				事業計画	6月 環境美化コンク-ル参加団体の募集 8月 第1回社会教育委員会魏開催 3月 第2回社会教育委員会魏開催			
執行体制	職員のみ				活動実績	4月 市民部文化振興課に茨城県教育委員会からの派遣社会教育主事1名を配置 6月 環境美化参加団体を募集 7月 審査の上、市から7団体を県民会議に推薦 8月 第1回社会教育委員会議を開催 10月 市から推薦した団体のうち2団体が受賞決定 12月 表彰 3月 第2回社会教育委員会議を開催				上半期活動実績				
事業の目的	社会教育委員会議の開催や社会教育主事の配置を通じて、つくば市における社会教育の振興を図るため。				成果	専門的知見を有する社会教育主事及び社会教育委員会委員の意見を取り入れながら、社会教育行政を推進することができた。また、環境美化コンク-ルにおいては、茨城県造園建設行協会賞を1団体が、花いっぱい運動特別賞を団体が受賞し、市民の関心を高めることができた。				上半期成果				
事業の概要	社会教育委員の助言や指導を元に市の社会教育施策を実施し、環境美化コンク-ルの実施や社会教育主事の配置を通じて、市の社会教育行政の充実化を図る。				課題	今後における環境美化コンク-ルへの参加団体の減少が懸念される。				課題				
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001	-	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
環境	-	-	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-			
関連性	-	-	-	-	評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-			
					事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初					
					事業費(A)	10,558千円	10,951千円	11,183千円	0千円					
					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
					一般財源	10,558千円	10,951千円	11,183千円	0千円					
					人件費(B)	387千円	478千円	478千円						
					正職員	従事割合	0.05人	0.06人	0.06人					
					内訳	時間外勤務	2.25時間	11.66時間	11.66時間					
					臨時職員等	無	無	無						
					事業コスト(A+B)	10,945千円	11,429千円	11,661千円						
					H29年度当初積算根拠	-								
					H29年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	12	地域改善対策に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	2,636千円	4,048千円	3,181千円	0千円
総人件費	152千円	223千円	223千円	
総事業コスト	2,788千円	4,271千円	3,404千円	

事務事業名	01 地域改善地区集会所維持管理事業	指標名	-				指標種別	-								
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	-					
総合戦略	-	実績	-	-	-					その他の指標	-					
個別計画	-	H27年度				H28年度				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
根拠法令等	高須賀地区集会所条例	改善目標	-				改善目標	-				事業費(A)	2,636千円	4,048千円	3,181千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業	事業計画	維持管理及び老朽化に伴う施設修繕を適切に行う。 H27年度は、雨戸及び外壁修繕を予定。				事業計画	平成28年度中に、高須賀地区集会所二階の窓枠改修を行う。 消防設備点検、浄化槽点検など法定点検を適切に行う。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	一部委託	活動実績	7月から9月にかけて高須賀地区集会所の窓及び外壁の改修を行い、利用環境の整備を行った。 年2回の消防設備点検を行い、安全な利用環境を維持した。				上半期活動実績	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	地域改善対策集会所整備費補助金により整備された高須賀地区集会所の適正な維持管理を図り、地域の交流の場として提供するため。	成果	高須賀地区集会所を適正に管理することができた。				上半期成果	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	集会所の維持管理、施設の貸出などを委託し、集会所を地域交流の場として適切に運用する。	課題	-				課題	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 関連性	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	一般財源	2,609千円	4,048千円	3,181千円	0千円		
		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		人件費(B)	152千円	223千円	223千円			
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		正職員	従事割合	0.02人	0.03人	0.03人		
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
										臨時職員等	無	無	無			
										事業コスト(A+B)	2,788千円	4,271千円	3,404千円			
										H29年度当初積算根拠	-					
										H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	13	家庭教育支援に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	24,592千円	24,675千円	25,453千円	0千円
総人件費	5,587千円	5,428千円	5,428千円	
総事業コスト	30,179千円	30,103千円	30,881千円	

事務事業名	01 家庭教育学級支援事業				指標名	家庭教育学級参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	家庭教育学級参加者数			
	戦略プラン	2	4	教育現場の支援体制整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
	-	-	-	-	実績	20,302人	21,940人	-								
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-		
	-	-	-	-	改善目標	様々な社会問題を必要課題として、的確に指導できるよう、社会教育指導員のさらなる資質向上を図っていくため、研修を行う。				改善目標	様々な社会問題を必要課題としての的確に指導できるよう、社会教育指導員のさらなる資質向上を図っていくための研修を行う。					
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画				事業計画	家庭教育学級(乳幼児・幼稚園・小学校・中学校・祖父母)の開設。学級の枠を超えた学習の機会として講演会を3回開催。社会教育指導員を生涯学習課に2人、交流センターに14人を配属し、それぞれの社会教育事業・家庭教育学級等を担当し、社会教育の推進をしていく。				家庭教育学級の開設。学級の枠を超えた学習機会の提供として講演会を年3回開催。社会教育指導員を文化振興課に2人、各地域交流センターに14人を配置し、社会教育及び家庭教育の推進を図る。						
根拠法令等	社会教育法 社会教育指導員設置規則					活動実績	家庭教育学級(77学級、学級生数12501人)を開設。また、学級の枠を超えた学習の機会として講演会(全3回、参加者数907人)を開催した。16人の社会教育指導員により、家庭教育学級の運営に際し助言・指導を行った。				上半期活動実績	-				
事業分類	A 任意的事業				成果	参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できた。社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた。				上半期成果	-					
執行体制	職員のみ					課題	家庭教育学級の運営に際し、助言・指導を行なっているが、講座が趣味や交流に偏りがちである。また、平日の開催が多いため、働いている保護者が参加できない状況がある。				課題	-				
事業の概要	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てるため。社会教育の特定分野における直接指導、学習相談、又は社会教育団体の育成を通じて、社会教育を推進するため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-		
	家庭教育学級を開催する。学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行い、講演会や学習会を開催する。非常勤の嘱託員(任期は1年、定数は16人)として採用し、生涯学習課及び交流センターに配属した。職務は、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等に当たる。															
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度の方向性	-	理由	-
	-	-	-	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
	-	-	-	-		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初												
事業費(A)	24,592千円	24,675千円	25,453千円	0千円												
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円												
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円												
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円												
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円												
一般財源	24,592千円	24,675千円	25,453千円	0千円												
人件費(B)	5,587千円	5,428千円	5,428千円													
正職員	従事割合	0.72人	0.72人	0.72人												
内訳	時間外勤務	44.00時間	29.50時間	29.50時間												
臨時職員等	無	無	無													
事業コスト(A+B)	30,179千円	30,103千円	30,881千円													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,078千円	3,397千円	1,234千円	0千円
総人件費	7,299千円	7,190千円	7,115千円	
総事業コスト	10,377千円	10,587千円	8,349千円	

事務事業名	01 生涯学習審議会開催事業				指標名	生涯学習審議会開催回数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	審議会の開催数		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-	-	-	-	4回	5回	4回	4回	4回	4回	4回	4回						
総合戦略	-	-	-	-	4回	5回	-											
個別計画					改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標 -				
						資料等については事前に送付し、欠席する場合の意見の集約を図る。					委員数が多く、意見を反映するのが難しいため委員の定数の検討が必要。							
根拠法令等	つくば市生涯学習審議会条例				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習審議会開催(5月, 6月, 7月, 12月, 3月) 審議内容: (仮称)第2次つくば市生涯学習推進基本計画策定について、地域交流センター講座について等 パブリックコメント10月実施予定 H27年度は計画策定のため視察研修は実施せず審議会を開催する。 				事業計画	生涯学習審議会 開催回数4回 審議会委員視察研修							
事業分類	B 任意的事業(小規模)				活動実績	生涯学習審議会 開催回数5回 審議内容: (仮称)第2次つくば市生涯学習推進基本計画策定について、地域交流センター講座について等 第2次つくば市生涯学習推進基本計画についての市長への答申9月7日				上半期活動実績								
執行体制	職員のみ				成果	審議会の回数を増やすことによって、答申や計画書の作成が順調にできた。				上半期成果								
事業の目的	市民が自己を高めるため、生涯にわたり社会のあらゆる領域で自発的、自主的に学習活動が行えるようにするため。				課題	審議会委員の意見の内容が多岐にわたるため集約が難しい。				課題								
事業の概要	生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために調査審議する審議会を開催する。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-						
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-							
					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-							
					評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-							
													事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
													事業費(A)	2,490千円	3,266千円	1,100千円	0千円	
													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
													一般財源	2,490千円	3,266千円	1,100千円	0千円	
													人件費(B)	3,120千円	3,129千円	3,026千円		
													正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人	
													正職員	時間外勤務	30.00時間	58.45時間	20.00時間	
													臨時職員等	無	無	無		
													事業コスト(A+B)	5,610千円	6,395千円	4,126千円		
													H29年度当初積算根拠					
													H29年度方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,078千円	3,397千円	1,234千円	0千円
総人件費	7,299千円	7,190千円	7,115千円	
総事業コスト	10,377千円	10,587千円	8,349千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	02	つくば人間学講座	指標名	講座参加者数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	講座の参加者数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	500人	300人	300人	300人	300人	300人	300人					
総合戦略	-	-	-	実績	832人	477人	-								
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画			H27年度				H28年度							
根拠法令等	-			改善目標	市民のニーズを把握するためのアンケート結果を講師の選定に反映していく				改善目標	市民ニーズを把握するためのアンケートを実施，講師の選定等に反映していく。					
事業分類	B 任意的事業(小規模)			事業計画	・開催回数4回予定 7月：笑いの効能 9月：戦争体験 11月：少年犯罪 2月：脳科学				事業計画	開催回数4回予定 7月：消費税とマイナス金利 9月：子どもの貧困 12月：携帯依存 2月：古典文学					
執行体制	職員のみ			活動実績	笑いの効能に関する講座(7/18) 参加人数 126人 戦争体験に関する講座(9/19) 参加人数56人 少年犯罪に関する講座(11/21) 参加人数 36人 脳科学に関する講座(2/6) 参加人数 258人 ・受講者総数 477人				上半期活動実績	-					
事業の目的	市民が主体となって企画立案する講座を実施し市民協働の事業展開を図るため。			成果	企画立案や講師選定などに市民が主体的に取り組むことができた。				上半期成果	-					
事業の概要	講座の内容・講師選定など企画全般を市民による実行委員会が行い，行政は会場の準備や広報などを行った。			課題	市民のニーズを把握し，様々な社会問題をテーマとして講座を開催し，受講者数の増加を図ること。				課題	-					
ISO 14001	-	-	環境	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-		
ISO 14001	-	-	環境	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度の方向性	-	理由	-
ISO 14001	-	-	環境	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-					
ISO 14001	-	-	環境	評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,078千円	3,397千円	1,234千円	0千円
総人件費	7,299千円	7,190千円	7,115千円	
総事業コスト	10,377千円	10,587千円	8,349千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	03	出前講座事業	指標名	出前講座参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	出前講座の参加者数			
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度	
実績	-	-	-	-	1,000人	2500人	2500人	2500人	2500人	2500人	2500人			
総合戦略	-	-	-	-	実績	2175人	2713人	-						
個別計画	-	-	-	-	H27年度				H28年度					
根拠法令等	-	-	-	-	改善目標	市民のニーズを把握するためのアンケートを引き続き実施する。				改善目標	市民ニーズを把握するためのアンケートを実施し、メニューの充実を図る。			
事業分類	B	任意的事業(小規模)		事業計画	・チラシ及び出前講座メニュー一覧を作成し周知を図る。 ・メニュー内容の充実を図るために、新たなメニューを設ける。				事業計画	・チラシ及び出前講座のメニュー一覧を作成し、周知を図る。 ・メニュー内容の充実を図るため、全庁的に取り組む。				
執行体制	職員のみ	活動実績	認知症サポーター養成講座 15回 家族ではじめる防災対策 13回 どうやって支える高齢者の生活と介護 12回 その他 43回 実施回数 83回 参加人数 2713人				上半期活動実績	-						
事業の目的	市民が主催する学習会等に市の職員等が講師として出向き、市政に関する講座を行うことにより、生涯学習の推進を図ると共に、市民の市政に関する理解を深め、もってまちづくりへの参加の促進に寄与するため。		成果	市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策について説明したことにより、市政に対して関心を深めることが出来た。				上半期成果	-					
事業の概要	市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策について説明するなどして、市政に関する講座等を行う。		課題	申請が特定の講座に集中しているため、講座メニューの充実を図る必要がある。				課題	-					
ISO 14001 環境性	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度当初積算根拠	-	理由	-			
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-								
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,078千円	3,397千円	1,234千円	0千円
総人件費	7,299千円	7,190千円	7,115千円	
総事業コスト	10,377千円	10,587千円	8,349千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	04	生涯学習指導者情報提供事業	指標名	情報提供数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	登録指導者の情報提供数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	50件	60件	60件	-	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	実績	47件	62件	-										
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画		改善目標	指導者情報についてのPRや情報発信方法の改善を行うとともに、主催者事業等での指導者活用を積極的に行う。				改善目標	登録した指導者の活用に努めるため、主催事業で積極的に活用していく。			その他の指標	-				
根拠法令等	-		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 指導者情報をホームページに掲載する。 市民の問合せに応じて、講師の紹介をする。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を整理する。 指導者情報をホームページに掲載する。 チラシの作成配布 市民の問い合わせに応じて、講師の紹介をする。 			事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業分類	B 任意的事業(小規模)		活動実績	情報提供数 62件(うち18件開催) 登録者総数 129名(うち新規17名) ジャンルごとに講師をまとめたチラシを作成配布した。				上半期活動実績	-			事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ		成果	市民の学びたい・教えたいという意欲に応えることが出来た。				上半期成果	-			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	市民の生涯学習意欲を満たすため。また地域全体が持つ能力を活かした学習機会の充実を図るため。		課題	引き続き、情報の提供依頼件数の増加を図るための方策を考える。また、登録した指導者の活用に努めていく。				課題	-			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	市民の要望に応じた生涯学習指導者情報の提供。生涯学習指導者情報の登録と整理。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			人件費(B)	760千円	743千円	743千円	
											内訳	正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	
												時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	760千円	743千円	743千円		
												H29年度当初積算根拠	-	-	-		
												H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	81,928千円	84,254千円	84,600千円	0千円
総人件費	4,903千円	4,861千円	4,861千円	
総事業コスト	86,831千円	89,115千円	89,461千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事務事業名	01	ふれあいプラザ指定管理者事業	指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市ふれあいプラザ利用者数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	75,000人	75,000人	75,000人	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	実績	75,098人	70,195人	-							
個別計画	-			H27年度				H28年度						
根拠法令等	つくば市ふれあいプラザ条例		改善目標	特殊建築物の定期点検を実施し、老朽箇所を把握する。自主事業を強化し、収支バランスを改善させる。				改善目標	自主事業や周知活動の強化により新たな利用者を獲得する。					
事業分類	F	施設等維持管理事業	事業計画	指定管理者自主事業 8月 真夏のジャズ&JAZZ 9月 ピアノ発表会 10月 ハロウィンイベント 12月 クリスマス発表会 3月 合同発表会 その他、随時講座を実施。 毎月、市と定例報告会を実施。				事業計画	子ども向けイベント、JAZZ発表会、ピアノ発表会、肝試しイベント、ハロウィンイベント、合同発表会、劇団海峡公演など、様々なイベントを実施する。 その他、各種講座を実施する。					
執行体制	指定管理者		活動実績	7月 ひだまりマルシェ～ハンドメイド&美魔女～ 参加者350名 8月 真夏のジャズイベント 参加者500名 2月6,7日 生涯学習による地域活性化フォーラム 参加者730名 その他、プール講座、パソコン講座、外国語講座、子ども向け講座、料理講座、運動講座、趣味・教養講座などを実施				上半期活動実績						
事業の目的	市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。		成果	2月6,7日に開催された「生涯学習による地域活性化フォーラム2015」では、茨城県教育委員会と連携し、つくばみらい市の講演の下、広域的な地域活性化事業を実施することができた。 また、文部科学省主催の第68回優良公民館表彰を受賞することができた。				上半期成果						
事業の概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者に委託し、適切な維持管理、施設の特徴を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。		課題	施設の老朽化により修繕箇所が増加している。 利用団体の高齢化により、利用者数が伸び悩んでいる。				課題						
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
環境	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
関連性	-	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					
事業実施コスト											H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)											56,938千円	59,398千円	59,533千円	0千円
国庫支出金											0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金											0千円	0千円	0千円	0千円
地方債											0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財											0千円	0千円	41千円	0千円
一般財源											56,938千円	59,398千円	59,492千円	0千円
人件費(B)											3,363千円	3,340千円	3,340千円	
正職員											従事割合	0.44人	0.44人	0.44人
時間外勤務											7.86時間	26.50時間	26.50時間	
臨時職員等											無	無	無	
事業コスト(A+B)											60,301千円	62,738千円	62,873千円	
H29年度当初積算根拠														
H29年度の方向性											-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	81,928千円	84,254千円	84,600千円	0千円
総人件費	4,903千円	4,861千円	4,861千円	
総事業コスト	86,831千円	89,115千円	89,461千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事務事業名	02	市民研修センター-指定管理者事業	指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市市民研修センター-利用者数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	35,000人	35,000人	35,000人	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	実績	36,493人	35,360人	-							
個別計画	-			H27年度				H28年度						
根拠法令等	つくば市市民研修センター-条例		改善目標	浴室のボイラ-制御盤、塩素制御ユニットに不具合が見られるため今年度中に修繕する。自主事業を強化し、収支バランスを改善させる。				改善目標	自主事業や周知活動の強化により新たな利用者を獲得する。					
事業分類	F	施設等維持管理事業	事業計画	指定管理者自主事業 4月 春のさくらまつり 8月 夏休み子どもイベント 10月 利用者合同発表会 その他、随時講座を実施。毎月、市と定例報告会を実施。				事業計画	春のさくらまつり、夏休み子どもイベント、利用者合同発表会など、様々なイベントを実施する。 その他、各種講座を実施する。					
執行体制	指定管理者		活動実績	指定管理者自主事業 4月 春のさくらまつり 参加者680名 8月 おもしろ実験～教訓茶碗をつくろう～ 参加者46名 怖い話を聞く夕べ 参加者63名 10月 利用団体合同発表会 参加団体22名、参加者438名 その他、健康講座、子育て講座、高齢者講座、趣味講座、伝承継承講座などを実施				上半期活動実績						
事業の目的	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与するため。		成果	浴室のボイラ-制御盤、塩素制御ユニットの修繕を行い、浴室利用者の安全な利用環境を整備した。				上半期成果						
事業の概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者に委託し、適切な維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。		課題	施設の老朽化により修繕箇所が増加している。利用団体の高齢化により、利用者数が減少している。				課題						
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
環境連関性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					
その他の指標											-			
事業実施コスト											H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)											20,136千円	20,594千円	20,702千円	0千円
国庫支出金											0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金											0千円	0千円	0千円	0千円
地方債											0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財											0千円	0千円	11千円	0千円
一般財源											20,136千円	20,594千円	20,691千円	0千円
人件費(B)											1,229千円	1,196千円	1,196千円	
正職員											従事割合	0.16人	0.16人	0.16人
時間外勤務											5.13時間	2.50時間	2.50時間	
臨時職員等											無	無	無	
事業コスト(A+B)											21,365千円	21,790千円	21,898千円	
H29年度当初積算根拠											-			
H29年度の方向性											-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	81,928千円	84,254千円	84,600千円	0千円
総人件費	4,903千円	4,861千円	4,861千円	
総事業コスト	86,831千円	89,115千円	89,461千円	

事務事業名	03	さくら民家園施設管理事業	指標名	来園者数				指標種別	成果指標	指標の概要							
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	さくら民家園来園者数					
実績	-	-	-	-	7,000人	7,000人	7,000人	-	-	-	-						
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標				
改善目標	-				催事や学習会等の施設を活用した利用方法等を紹介したり、プランターを整備して花を植えることで、より親しみやすく利用しやすい環境を整える。				-				-				
改善目標	-				リーフレットやつくば市HP等を通じて、施設や活用事例等を紹介することで、親しみやすく利用しやすい施設であることを周知する。				-				-				
個別計画	-				団体利用受付				団体利用受付				事業実施コスト				
事業計画	-				4～5月 大学での実習 11月 文化祭会場 1～2月 小学校社会科見学 6・8・10・12月 つくばの1年を楽しむプロジェクト(アイラブつくばまちづくり補助金支援事業) 施設を通して郷土理解等、学習の場や文化活動の場として広く活用してもらう。				4～5月 大学での実習 11月 文化祭会場 1～2月 小学校社会科見学 施設を通して郷土理解等、学習の場や文化活動の場として広く活用してもらう。				H26年度決算 H27年度決算 H28年度当初 H29年度当初				
事業計画	-				団体利用				団体利用				事業費(A)				
活動実績	-				4・7月 大学での実習 11月 文化祭会場 10・1～2月 小学校社会科見学4校 6・8月 つくばの1年を楽しむプロジェクト(アイラブつくばまちづくり補助金支援事業)				-				国庫支出金				
成果	-				施設を通して郷土理解等、学習の場や文化活動の場として広く活用された。また、プランターの位置を変更し、より利用しやすい環境を整えた。				-				県支出金				
課題	-				利用者数の減少が見られるため、季節ごとの魅力の発信や利用方法のPR等のさらなる利用促進が課題。また、茅葺き屋根のについては、差茅や葺き替え等の定期的なメンテナンスが必要となるため、今後において中長期的な計画の立案が必要。				-				地方債				
事業の進捗状況	-				達成				-				その他特財				
ISO 14001 環境性	-				有効性 中:適切な成果が得られている				-				一般財源				
環境性	-				効率性 中:適切な費用対効果が得られている				-				人件費(B)				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				正職員				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				従事割合				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				時間外勤務				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				臨時職員等				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				事業コスト(A+B)				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				H29年度当初積算根拠				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				H29年度の方向性				
環境性	-				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				理由				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,424千円	8,436千円	10,747千円	0千円
総人件費	10,709千円	10,628千円	10,573千円	
総事業コスト	19,133千円	19,064千円	21,320千円	

事務事業名	01	青少年健全育成事業	指標名	あいさつ・声かけ運動実施数				指標種別	成果指標	指標の概要	市内各小中高校においてあいさつ・声かけ運動を実施した。						
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度				
実績					120回	120回	120回	120回	120回			120回	120回				
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	・青少年の健全育成に協力する店舗数(累計) H25年度目標値:355件,実績値:397件 H26年度目標値:360件,実績値:407件 H27年度目標値:450件,実績値:406件			
改善目標					青少年相談員の活動が青少年の健全育成に必要であることを広く広報する。				改善目標 つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等に、青少年相談員の活動が青少年の健全育成に必要であることを理解していただき参加を促していく。								
個別計画	-				事業計画				事業計画				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業計画					・あいさつ・声かけ運動 ・図書等自動販売機の立入調査 ・学校訪問 ・まつりつくばでの啓発活動 ・地区巡回パトロール ・「青少年の健全育成に協力する店」登録活動				・あいさつ・声かけ運動 ・図書等自動販売機の立入調査 ・学校訪問 ・まつりつくばでの啓発活動 ・地区巡回パトロール ・「青少年の健全育成に協力する店」登録活動								
事業分類	A	任意的事業	活動実績	あいさつ・声かけ運動 図書等自動販売機の立入調査(1カ所3台) 学校訪問(37校)学校の状況や要望の把握 まつりつくばでの啓発活動 地区巡回パトロール 「青少年の健全育成に協力する店」登録活動(69店舗)				上半期活動実績				内訳	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
執行体制		職員のみ	成果	あいさつ・声かけ運動を実施することにより、無関心であった児童があいさつをするようになってきた。 累計では406店舗となった、閉店した店舗が多くあり店舗数は減少したが、新規の登録は18店舗あり青少年健全育成に意識を高めることができた。				上半期成果									
事業の目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるようにするため。			課題	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、若い世代の人材を青少年相談員として確保する必要がある。				課題				H29年度当初積算根拠	-	理由	-	
事業の概要	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-						
ISO 14001 環境性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				H29年度の方向性	-	理由	-
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-								
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,424千円	8,436千円	10,747千円	0千円
総人件費	10,709千円	10,628千円	10,573千円	
総事業コスト	19,133千円	19,064千円	21,320千円	

事務事業名	02	青少年を育てるつくば市民の会補助	指標名				「家庭の日」絵画・ポスター-コンク-ル来場者数				指標種別	成果指標	指標の概要	「家庭の日」絵画・ポスター-コンク-ル来場者数																		
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																							
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	450人	400人	400人	400人	400人	400人	400人																				
総合戦略	-	-	-	-	実績	322人	384人	-																								
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画				H27年度				H28年度				その他の指標	・あいさつ・声かけ運動実施回数 H25年度目標値:110回,実績値:100回 H26年度目標値:120回,実績値:100回 H27年度目標値:120回,実績値:100回																		
	改善目標	つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等の事業に協力する中で、両会の会員を取り込んでいく。				改善目標	つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等の事業に協力する中で、両会の会員を取り込んでいく。																									
事業実施コスト					事業費(A)	2,015千円	1,654千円	2,015千円	0千円																							
内訳	国庫支出金				0千円	0千円	0千円	0千円	0千円																							
	県支出金				0千円	0千円	0千円	0千円	0千円																							
	地方債				0千円	0千円	0千円	0千円	0千円																							
	その他特財				0千円	0千円	0千円	0千円	0千円																							
	一般財源				2,015千円	1,654千円	2,015千円	0千円																								
人件費(B)	959千円				1,663千円	1,662千円																										
内訳	正職員				0.12人	0.22人	0.22人																									
	時間外勤務				17.00時間	10.25時間	10.00時間																									
	臨時職員等				無	無	無																									
事業コスト(A+B)	2,974千円				3,317千円	3,677千円																										
H29年度当初積算根拠	-																															
事業の目的	市民総ぐるみ運動による青少年育成団体を支援し、青少年健全育成の推進を図るため。																															
	成果	青少年育成関係諸団体や地域・学校と協力しながら事業を展開することにより、地域社会で青少年を健全に育成するという機運を高めることができた。																														
事業の概要	青少年の健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。																															
	課題	役員の後継者不足																														
事業の進捗状況	達成				目標の進捗状況				達成				事業の進捗状況				-				目標の進捗状況				-							
	ISO 14001 関連性	有効性				中:適切な成果が得られている				有効性				-				H29年度の方向性				-				理由				-		
効率性				中:適切な費用対効果が得られている				効率性				-																				
総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-																				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,424千円	8,436千円	10,747千円	0千円
総人件費	10,709千円	10,628千円	10,573千円	
総事業コスト	19,133千円	19,064千円	21,320千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	03	つくば市子ども会育成連合会補助	指標名	会員数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市子ども会育成連合会へ加入している会員数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人				
総合戦略	-	-	-	実績	2,179人	1,663人	-							
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画			H27年度				H28年度						
根拠法令等	つくば市子ども会育成連合会補助金交付要綱			改善目標	加入促進のPR, 連合会の事業が有意義で魅力があるものになるよう助言をしていく。				改善目標	退会をする単位子ども会が増加しているため, 加入促進のPR, 連合会の事業が有意義で魅力があるものになるよう助言をしていく。				
事業分類	E 補助金・負担金事業			事業計画	本部事業 / 球技大会, 花壇推進活動 各地区事業(4支部) / リ-ダ-育成野外活動, 登山, そば打ち体験				事業計画	本部事業 / 球技大会, 花壇推進活動 各地区事業(4支部) / リ-ダ-育成野外活動, 登山, そば打ち体験				
執行体制	補助金(直接)			活動実績	本部事業 / スポーツ鬼ごっこ大会, 花壇推進活動 各地区事業(3支部) / リ-ダ-育成野外活動, 登山, そば打ち体験				上半期活動実績	-				
事業の目的	子ども会育成者への連絡調整を図り, 団体が行う子どもたちの健全育成活動を支援するため。			成果	異年齢の集団による仲間づくり活動や地域の育成者や保護者と共に行う活動を通して, 地域コミュニティー構築の一翼を担えた。				上半期成果	-				
事業の概要	子どもたちの健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。			課題	支部が減少するなど, 退会する単位子ども会が増加しており, 加入の魅力を高めることが課題となっている。				課題	-				
ISO 14001 関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H29年度の方向性	理由			
	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	718千円	507千円	1,240千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源	718千円	507千円	1,240千円	0千円
					人件費(B)	2,152千円	1,200千円	1,203千円		正職員	従事割合	0.26人	0.16人	0.16人
										時間外勤務	65.00時間	4.00時間	5.00時間	
										臨時職員等	無	無	無	
					事業コスト(A+B)	2,870千円	1,707千円	2,443千円		H29年度当初積算根拠	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,424千円	8,436千円	10,747千円	0千円
総人件費	10,709千円	10,628千円	10,573千円	
総事業コスト	19,133千円	19,064千円	21,320千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化振興課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	05	つくばサイエンスラボ事業	指標名	参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばサイエンスラボ参加者数		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
戦略プラン	-	-	-	160人	160人	160人	160人	160人	160人	160人			
総合戦略	-	-	-	実績	151人	139人	-						
	-	-	-	H27年度				H28年度					
個別計画	-	-	-	改善目標	参加数が増加すれば、安全管理の面からみても職員だけでは実施は難しい、多数のボランティアの協力が必要になるため、協力者確保のためのPRの強化。				改善目標	参加希望者が多く全コースとも抽選となっているため、コース数を増加し実施する。			
	-	-	-	事業計画	日時等：夏休みの期間7月28日～8月9日に4コース(5日間 一泊二日のコース含む)を実施。 内容：実験教室、施設見学、自然体験など				事業計画	日時等：夏休みの期間7月下旬～8月上旬に5コース(6日間 一泊二日のコース含む)を実施。 内容：実験教室、施設見学、自然体験など			
根拠法令等	-	-	-	活動実績	Aコース・7月28日(火)野菜の収穫、ピザづくり・つくばエキスポセンター施設見学 Bコース・7月31日(金)ロボット工学や環境問題について体験・筑波宇宙センター施設見学 Cコース8月6日(木)～7日(金)(宿泊)筑波山登山・星空観察体験・工作アニメマシン・食と農の科学館、地質標本館、サイエンススクエア施設見学 Dコース・8月9日(日)地図と測量の科学館・科学実験教室(昆虫の感覚と行動) 申込者総数：330人				上半期活動実績	-			
事業分類	A	任意的事业		成果	また来年も参加したいや、別のコースにも参加したいとの意見が多く、つくばの資源(自然や科学)に対する興味がより深められた。宿泊のコースでは市内の児童と都内の児童との交流が図られていた。ホームページやチラシでボランティアの募集を掲載したため、人数の確保ができた。				上半期成果	-			
執行体制	職員のみ		課題	4コースで実施しているが、申込数はどのコースでも多く抽選となってしまうため、参加数の枠を拡げたり、コースの数を増やすなどの検討が必要。				課題	-				
事業の目的	市内外の子どもたちを対象に、つくば市の地域資源である科学や自然を活かした体験活動等を通して、つくば市の特徴である豊かな自然と最新の科学技術への興味・関心を向上させるため。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠		
			事業の概要	・メニュー内容を企画する。 ・チラシやホームページ等で広報し参加者を募る。 ・事業を実施する。		-		-		-			
ISO 14001	環境 関連性	-	評価	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-	H29年度の方向性	理由		
			評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-				
			総合評価	A：成果を維持して継続実施		総合評価	-						

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	997千円	1,042千円	1,333千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	262千円	280千円	0千円
一般財源	997千円	780千円	1,053千円	0千円
人件費(B)	2,174千円	2,217千円	2,214千円	
正職員	従事割合	0.28人	0.28人	0.28人
正職員	時間外勤務	17.00時間	51.25時間	50.00時間
臨時職員等		有	有	有
事業コスト(A+B)	3,171千円	3,259千円	3,547千円	

H29年度当初積算根拠	-	理由	-
-------------	---	----	---